



4階西病棟

部署の特徴

4階西病棟は、主に脳神経内科外科、耳鼻科、眼科の患者様が入院しています。

【脳神経内科、脳神経外科】

脳卒中(脳梗塞・くも膜下出血・脳出血)の患者様に加え、慢性硬膜下血腫や水頭症、髄膜炎などの患者様が多くいられます。症状としては四肢麻痺や瞳孔不同、頭痛や吐き気などを観察します。術後の意識レベルの変化やドレーンの管理が重要なポイントとなります。高血圧や便秘により努責をすることで血管に負担がかかり、再梗塞のリスクが高まる危険性もあるため血圧のコントロールや排便コントロールを注意深く行っています。また、麻痺や失語といった後遺症が残存する方がおり、日常生活を見据えたりハビリテーションを行っています。

【耳鼻科、眼科】

耳鼻科では中耳炎や扁桃炎、耳下腫瘍の方、眼科はほとんどが白内障、口腔外科は埋伏歯の抜歯術の方が多く見受けられます。治療方針によりますが、全身麻酔下での手術がほとんどです。手術を安全に実施できるよう術前の準備(絶飲食や内服管理)や術後の疼痛コントロールによる苦痛緩和が重要となってきます。

勉強しておくの良いこと

基礎技術はどの場面でも基本となり得る手技なので日々の確認が重要です！

また、脳梗塞やくも膜下出血などの疾患にまつわる症状や代表的な治療方針なども知っておくと自分の強みになるかと思えます。「なぜそのような前準備が必要なのか」など理由と合わせて勉強すると、より理解が深まり実践で生かしやすくなると思えます。働きながら学ぶことがたくさんあります！

よく使う参考書・教科書

- ・ナーシングスキル(入職後に紹介があると思います。)
- ・病気がみえるシリーズ
- ・学生の時に使用していた教科書や参考書

